

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公表番号】特表2008-508931(P2008-508931A)
 【公表日】平成20年3月27日(2008.3.27)
 【年通号数】公開・登録公報2008-012
 【出願番号】特願2007-524763(P2007-524763)
 【国際特許分類】

A 6 1 C 8/00 (2006.01)

A 6 1 C 1/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 8/00 Z

A 6 1 C 1/08 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成20年5月22日(2008.5.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

外科テンプレート内に配置された多数の套管と相互作用することができかつハンドル部と、前記外科テンプレートの対応する案内套管に適合されることができる案内部とを含む案内装置であって、この案内部がハンドル部に連結されるものにおいて、案内部がボールベアリングレースを配置されていること、及びハンドル部が第一部分と第二部分から作られており、これらの部分が相互に関して変位可能であり、第一部分が、ボールベアリングレースを受けるように配置された部分を含むことを特徴とする案内装置。

【請求項 2】

ハンドル部が、互いに関して変位されることができる第一部分及び第二部分からなることを特徴とする請求項 1 に記載の案内装置。

【請求項 3】

第一部分が雌ねじを含み、第二部分がこの雌ねじと相互作用することができ雄ねじを含むことを特徴とする請求項 2 に記載の案内装置。

【請求項 4】

ボールベアリングレースを受けるように配置された第二部分の部分が第二部分の内部空間であることを特徴とする請求項 3 に記載の案内装置。

【請求項 5】

案内装置が支持部を含み、この支持部がボールベアリングレースの球状部を支持し、この支持部が球状部の直径または断面積より著しく、例えば 50 - 75 %、小さい直径または断面積を示すことを特徴とする請求項 1 - 4 のいずれかに記載の案内装置。

【請求項 6】

第二部分の内部空間は側部凹所を配置されており、この側部凹所は球状部の直径または断面積を越える第一幅と球状部の直径または断面積より小さいが支持部の直径または断面積を越える第二幅とを持って配置されることを特徴とする請求項 5 に記載の案内装置。

【請求項 7】

一つの同じハンドル部が案内部の置換または選択を可能とするように配置されていること、またはその逆も同様であることを特徴とする請求項 1 - 6 のいずれかに記載の案内装

置。

【請求項 8】

清浄化及び無菌化を可能とするために第一及び第二部分及び案内部が互いに分離可能であることを特徴とする請求項 1 - 7 のいずれかに記載の案内装置。

【請求項 9】

案内部の置換及び／またはハンドル部と案内部の間の位置の選択が第一及び第二部分の間のわずかな相対的回転運動（単数または複数）により実施されることができることを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の案内装置。

【請求項 10】

ボールベアリングレースが内部空間中に挿入されたときにボールベアリングレースを第二部分に錠止するために、第一部分が第二部分に関してその縦方向に変位可能であることを特徴とする請求項 1 - 9 のいずれかに記載の案内装置。